



所属巡視船船長着任挨拶



巡視船りしり 船長 船曳信行



4月1日付、巡視船りしり船長で参りました船曳です。前任は函館海上保安部巡視船おくしりです。

稚内は初任の地で、昭和54年10月から5年半勤務をさせていただき、いろいろな機会を通じて海上保安官の土台を作っていただいた土地です。町並みは少し変わりましたが、暖かい人情は変わらないと感じているところです。

稚内海上保安部長指揮の下、皆様のお役に立てるよう乗組員が一丸となって道北の海の安全・安心を守っていきたく思いますのでどうぞよろしくお願い致します。



巡視船もとうら 船長 西川勇次



4月1日付、巡視船もとうら船長で参りました西川です。前任地は石垣海上保安部巡視船よなくにで、なんと北緯24度に位置する最南端海上保安部から北緯45度に位置する最北端海上保安部へと一気に21度程北上して参りました。季節が夏から一気に冬となり少し体がびっくりしている状況です。

しかし、北海道勤務は初めてではなく、5年前に紋別海上保安部巡視船そらちに勤務しており、その時の北海道の雄大さ、自然の美しさ、豊かさに感動し、もう一度経験したく希望で北海道に参りました。

現在乗船中の巡視船もとうら船齢は30年を越え、いたる所の老朽、故障は仕方がありません。しかし乗組員一丸となってメンテナンス等実施し、運航に支障を出すことなく、このご老体巡視船で救難業務等海上保安業務にあたっていく所存であります。皆様のご支援よろしく申し上げます。

ザ・もつともきた
最北のおつと
157号



海上保安制度創設70周年

150th
LIGHTHOUSE
ANNIVERSARY

GWフェリーターミナル特別警戒

5月1日、離島への観光客や物資の輸送が増える大型連休に合わせ、テロや犯罪の未然防止のためフェリーターミナルの特別警戒を実施しました。

当日は警備救難課職員及び巡視船りしり乗組員によりターミナル内に設置されたコインロッカーやゴミ箱内の不審物の有無を入念に調査し、また、乗降口ではフェリーの発着に合わせて不審人物が紛れ込んでいないかの警戒を実施しました。



ライフジャケットは必ず着用を!

釣り中の海中転落の8割が岸壁や防波堤等の場所で発生していることから、釣りする際には、釣り場環境のリスクを認識する、複数人での行動と連絡手段の確保、ライフジャケットの常時着用、立入禁止場所に入らない、気象の把握を心がけてください。

また、一人乗り漁船での事故も発生しております。ライフジャケットを正しく着用し、気象の変化に注意してください。

事故は身近で起きる!
釣り中の海中転落事故の8割が岸壁、防波堤、消波ブロック
平坦な場所でも油断大敵!

事故発生場所(2015~2020)

岸壁	44%
防波堤	28%
消波ブロック	28%

一歩先は「海」

- 釣り場環境のリスクを認識
- 複数行動と連絡手段の確保
- ライフジャケットの常時着用
- 立入禁止場所に入らない
- 気象の把握

海の「もしも」は 118番

愛します・守ります・最北の海
稚内海上保安部

〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号 (TEL・FAX 0162-22-0118)
ホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>
職員募集・学校訪問・職場体験等お気軽にお問い合わせください!!

